

障害者の仲間に入って

菅浪 善造



様になり現在に至っています。今では、私の兄のよう慕っています。苦勞話を聞いて貰い、良き助言を戴

私は養護施設出身で昭和38年中
学卒業で、下京区の伝統産業仏具
蔦絵S社に住み込み十年修行し、
以後57年間勤めました。住み込み
当初は、師匠と2、3年銭湯も同
行していましたがこの時代、近所
に数多くの銭湯があり、足の不自
由さが気になり小規模な銭湯に、
現在は廃業された「寿湯」松原通
大宮東入るに通うようになり、途
中よく小坂書店（事務局長の店）
に立ちより、成人向け雑誌に目が
止まり楽しませて貰う。この銭湯
でK氏がお父様と兄弟3人で来ら
れて初めて出会いました。障害が
邪魔物になり恥ずかしく、なか
か話しかけられず数回顔を合わし
ているうちに接触の機会が出来、
K氏は障害者の会へは積極的に進
言されなかった事を覚えていま
後に紹介され、下京区に居住して
いましたが、K氏の勧めで中京区
肢体障害者協会に入会しました。
当時は、進んで事業には参加でき
ず数年後より協力の姿勢が出来

いて感謝しています。今、気づきま
した「寿湯」での、K氏との出会
い障害者の仲間に入って、「壽」萬
歳。お陰で、多くの皆さんとの出
会いで、内向性の私を引っ張り上
げて頂いたのも、肢体障害者協会
の活動の場でありました。感謝し
ております。最近では、京都市の
委託事業として市身連を通じて、
小・中学校生に、講和や車椅子体
験・卓球バレー体験を通じて、肢
体障害者を理解してもらう事によ
り、地域社会での共生を目指し、
「住みよい京都」を目指す福祉教
育の一環として、障害のある人・
高齢者等の社会的弱者に対して優
しい心を養い、お互いが助け合え
る社会作りを目的としている「ほ
ほえみ交流活動」に参加していま
す。毎年十二、三校よりの依頼が
あり、役に立つ活動が出来ていま
と、私は肢体障害者協会での活動
が役に立っていると実感していま
すので、共感して下さる方募集し
てます。協会事務局まで。

発行日 令和2年10月1日
発行所 〒601-8321
京都市南区吉祥院
西定成町35
京都市洛南身体障害者福祉会館内
NPO 法人
京都市肢体障害者協会
TEL 672-3615
一部20円

俳句

ひとり居の
身みにこそつと
秋あきの音おと
若葉

ともちゃんのこと

森岡 久恵

私が住む学区は、区民運動会の
時に障害者団体でクッキー、アイ
スクリーム、ジュースを販売しま
す。ある時、知的障害のあるとも
ちゃんにジュースの売り上げの券
を数えてもらいました。ともちゃ
んはとてもやさしい子で私が物を
落したりすると、すぐに拾ってく
れます。「おばちゃん、大丈夫！」
ていつも声をかけてくれる、そんな
子でした。ともちゃんにとって券
を数えるのは簡単な事でした。
そのともちゃんの所へ婦人会の
おばさんがとんで来ました。「なん
でこの子にやらせるの!!」と言っ
て券をひたたくてゆきました。
「ごめんね! あとであのおばち
やんにちゃんと言うからね」私は
こんな大人がいる事が申し訳なく
て謝りました。そしたらともちゃ
んはにっこり笑ってこう言ったの
です。「おばちゃん、大丈夫やで。
私はこういう事になれてるねん」
私は胸を突かれた思いでした。守
ってあげてと思ったのに。大
事な事を教えられた思いでした。
あれから20年以上が過ぎました。

でも障害者差別はなくなりません。
私達はどう発信すればいいのか。
明確な答えはないけれど声高に叫
ぶより、私達が地域に溶け込み地
域の一員にな
る事が一番だ
と考えます。
私も学区の仲
間といっしょ
に地域の発展
にがんばりま
す。



ブライトホール

北ブライト（堀川紫明） 中央ブライト（五条東山）
南ブライト（油小路八条） 西ブライト（五条西大路）
山科ブライト（五条外環） 伏見ブライト（新堀川丹波橋）
向島宇治ブライト（宇治横島） 大津ブライト（大津駅南）

家族葬専用

別邸

別邸 向島宇治（宇治横島） 別邸 大津（大津駅南）

お葬式 家族葬

公益社

0120-004-200

公益社 京都

検索

車椅子障害者になつて

秋谷幸枝

私が障害者になったきっかけは、小学6年生の時に脊髄の病気になる、いつときは下半身が全く麻痺しました。が、だんだん麻痺も良くなり、走ることはできないけれども早足では歩けるくらいに回復して3年遅れて中学生になりました。

その後は、自分では障害者だと自覚もしないで過ごしていました。でも一度、麻痺した足はやっぱり弱く、40才を過ぎた頃から少しずつ両膝が痛くなり、だんだん歩けなくなってきました。痛みもひどくなり車椅子に乗らなければならぬようになった頃は、車椅子姿を人に見られるのが辛くて、周りの目を凄く気にし、特に知っている人には会いたくなくて、親友でさえあまり会わずに2、3年の間は引きこもり状態の日々を送っていました。(多分、自分の心の中だけで引きこもっていて、表面は普通にしていたので、私のそんな気持ちは家族も誰も気がついていなかったと思います……)

そんな時、ふと目にした新聞に障害者の職場が出来た記事が……。こうして、いつまでも引きこもっていたらアカン、何かしないと。思っていた時期と、他にも障害の方がいる職場なら車椅子でも気にしなくても良いかもと思えて決心し、入社し定年まで働くことになりました。



その会社で、いろいろな障害を持つ人に出会えて、でも、みんな強くてたくましく、私自身の障害も含めた人生観は大きく変わりました。

なかでも18才の車椅子の女の子に「私は車椅子に乗っている姿を知っている人には見られたいくないので、知り合いに会わないように遠くのスーパーまで買い物に行っているのよ」と話したら、「秋谷さんは足だけと違って、心も障害なんやなあ」と言われてハツとしました!

ほんまにそうです。心まで障害になつたらいけないと! 自分の子供みたいな若い子がこんなに悟っているのがショックだったけれど、その言葉で本来の自分がとりもどせました。

また、一緒に食事に行った車椅子の女性が、車椅子から降りてレストランの階段をお尻で上がれるのを見た時も、その頑張る姿に涙が出そうになりました。車椅子姿さえ人に見られるのに抵抗のあった私にはショックすぎましたが、また一段と人生観が大きく変わりました。

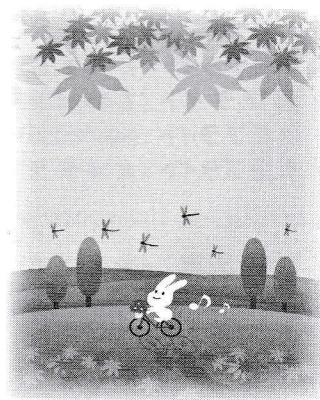
定年になって、勤めていた頃の友人に洛南福祉会館の歌謡教室に誘われました。障害者の会館があるのを知ってからは会館のパソコン教室、書道、陶芸、華道、茶道、絵画教室と毎日のように会館通いが始まりました。定年後の楽しみが日々でした。

その、教室で知り合った方が肢体障害者協会の会員で、肢体障害者の会があることも知りました。その方が入会されていた南区の会長であった櫻木さんをお願いして、南区に入会させて頂くことになりました。櫻木会長も車椅子でした。が明るくて、気さくで、奥様共々とても親切にしてくださり入会させて頂いて本当に良かったと思いました。

そうして、毎日のように会館の教室に通っていた頃に知り合ったのが、やっぱり毎日、お仕事で洛南会館に来ておられた京都市肢体障害者協会の日野勝さんです。障害者が少しでも不自由なく暮らせるため、困っている障害者のために少しでも力になりたいと思っている!と熱く語られているのをお聞きして感動し、ボランティア活動なんて思いもかけなかった私は日野さんの「人のために生きたい」との思いを尊敬し、誘われて肢体障害者協会事務所内にある障害者就労支援で働くことになりました。

私が障害になった頃と比べて最近車椅子で街に出て行動しやすくなったなあと思っていました。が、肢体障害者協会の事務所に通うようになって、肢体障害者協会の歴代の方々が京都市などと話し合われ障害者が不便で不自由なところを改善してもらう活動をされていた事も初めて知りました。

私自身も就労ピアサポートや結婚相談所に来所される、肢体だけでなく視覚、聴覚など様々な障害を持つ方とお会いするようになって、今までは他の障害の方については何も知らなかったけれど、いろんな方にお会いすることができて少しずつですが理解出来、障害者団体に入れて良かったなと思っています。



京仏壇京仏具・お仏具ご修復 ご本堂内装・お納骨壇

創業229年 お仏壇仏具づくりただ一筋に



京 仏 具

小堀

<http://www.kobori.co.jp>

本店/〒600-8159 京都市下京区烏丸通り正面上る
フリーダイヤル0120-27-9595・FAX075-341-4128

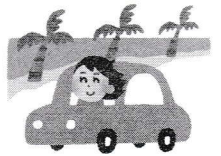
Yahoo!ショッピング <http://store.yahoo.co.jp/kobori/>

障害者の会に入って

前田 美智子

身障会館の華道教室に通っていた頃、障害者も車の免許取得が出来るとのセンサーシヨナルな情報を耳にした!!

将来は歩行困難になる自分の障害を見据え、意を決したその日から、早くも47年が過ぎた。車を相棒に一人旅への挑戦は、



勇気と自信を与えて私を強くしてくれました。

障害者の女性ドライバーのギネスを胸

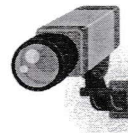
に東北全土一周(17泊18日間)を、トラック野郎のように走って、走って、走り抜いた私の自負がある。若さで成し得た冒険でした。肢体協の女性会や、広報部で身障新聞に関与し、昨年は京都市自治記念式典で表彰状を頂きました。

サスペンス

あつ、青い車だ!!

第6回

前田 美智子



紙面の都合上、休載中の「青い車だ」を再開し、次号の完結に向けて嘘・偽りなき真実の実体験を赤裸々に書き上げます。

車椅子使用者として、バリアフリー化の団地に転居したその日、新居で勃発した奇怪な爆発音の轟き渡る異様な事態に遭遇し、不吉な予感を悟った。

有り得ない状況に引越し業者や友人と仰天し、たまげた事は前回にも記した通りですが、その夜に再びの奇襲が牙をむき、想像を絶する展開で私を奈落の底へ陥れた。就寝の11時頃にベッドが勝手に振動を始め、震度2程度の揺れが一晩中を止まらない不可解さにおのきまりました。

やがて、ベッドの下方から大きな振動波のうねりが背中や胸を締

めつけ、締め上げる苦しさにさいなまれ、恐ろしさに驚愕した。そして、足に電気ショックが!! 悲鳴と同時に身体が布団から飛び上ったのです。(強い電流でした。)その痛烈さは瞬間に足を痺れ上げて、感覚を失った。まるで、切断機で切り落とされた如くの、ちぎれるような足を、力の限りに撫でさすりながら、ただならぬ状況に戦慄しました。吹きこぼれそうな涙を堪え、滝のように流れ落ちる汗でびしょ濡れる中、私は現実を把握する為に顔や手を力一杯につねっていた。その痛みが教える現実に啞然としたのです。

翌朝、未曾有の事態を引き起こした出来事の要因の追求に熟慮を重ねた結果、全てが電気、電流で成せる「業」だと結論づけた。それは、ベッドにヒントを得て、私を地獄に陥れた人物は必ず近くにいたとの確信を強く持ち、階下の住人と対峙した。玄関先に立った中国帰国者夫婦は、一言も声を出さず、ニヤニヤと笑い続けるだけの無言劇を演じ、その警戒心もあらわな挙動不審な態度に、「こいつだ!!」と直感し、予感を的中させました。そして、この日を境にして輩宅との戦いの火蓋がきつて落とされたと忘れ得ぬ日となり、17年になる。(この夫婦には小学生の2人の子供がいた。数年後、成長した子供は親の命令に従って、兄は中学卒業と同時にバイクの免許取得で、私の車に張り付き忠実にストーカーの役目を遂行している。妹は、青い車の4人組の一人として、リーダー格で私の車を淡路島で追跡したのだ。昨年、洛南イオン店のトイレで私を待ち伏せて、激しく罵倒したのも、この娘の母親です。)火蓋の切られた攻防戦は熾烈をきわめる凄まじさで、私宅の電気系統を席卷する工作が発覚した。洗濯機が動かない。電子レンジや炊飯器の電源をシャットアウトされて通電が無い。電気毛布やアイロンに熱伝導がなくて、冷たいままの機能不可です。前代未聞の奇怪な現象を生じて、日常生活が成り立たなくなりました。ガスの使用と、インスタント食品に助けられて何とか凌ぎ、乗り越えて来た泣く思いの毎日があった。

関西電力に相談しても、輩の作戦なのか、ただ一つ冷蔵庫だけが通電して正常であり、関電は調査なく途方に暮れる日々の連続でした。何故、こんな事態になったのか。それは輩の享楽趣味の一言に尽きるものだ。他人の家を覗き見て、盗み聞く行為をやるための企みが秘密兵器を潜ませる工作へと!!

地獄の沙汰を展開した一夜の功妙な手口は、電気知識に長けた人物が自信を持って仕上げた成果であろう。その自信を確認しない苦が無いのである。当然、盗聴器、盗撮器で様子を窺う手段が構じられるのは、その筋の常套手段で、盗撮映像は輩宅のモニターに映り「ほくそ笑む」人物が必ずいるのだ。

しかし、この秘密工作が人の知る所となれば犯罪となり、警察沙汰になる。輩がストーカーを必要とするのは万が一の場合の情報源だ。

「体育大会」中止



11月1日(日)に、リハビリテーションセンターで開催を予定していましたが、「令和2年度 体育大会」は、コロナ感染防止の観点から、今年度は中止する事になりました。楽しみにされていた方も多く、来年こそはコロナが収束し、開催出来る事を信じて、元気で過ごしてください。

障害者の仲間に入って

川端正彦

私が若い時、どのように過ごしてきたかと、思い返してみました。

昭和38年に学校を卒業して、型紙で着物染める板場友禅の工場に就職して事務の仕事でした。そこには、多くの若い従業員がいましたが、現場の人は、島根県から出て来て住み込みで働いていました。私とすぐに友達になる人も居なくて、仕事が終わってから、中京区の「青年の家」(現在のウイングス京都)に行き友達を求めて、そこへ良く通ったものです。そこには、障害者の方もおられ友達も出来ました。

その頃、京都には自分の人生を、福祉一筋に捧げられた身障連理事長の蟹江広吉氏がおられ、色々と福祉について教わりました。各行政区には身障団体連合会(上部組織)があり、昭和38年秋に、各行政区に若い人が結集できる下部組織を作る話があり、そのあくる年



障害者がおられる家庭に入会を勧めて回りました。

その頃は沢山の若い人がおられ、活気がありました。今日にあるような壬生会館・洛南会館(2つとも署名運動する)も無く、いつも近くのお寺を借りて相談・交流会をしていました。その為、夜に良く寄り合いがあり、忙しかったことを覚えています。他の行政区にも青年部が出来始め、皆で、下京区・東山区・上京区等に出掛け交流をはかりました。

又、今発行されている新聞の肢体協「京都身障の福祉」の前身と言える「青婦ニュース」が発行され、市肢体協会の情報を会員に届けていました。仲間の自宅で、ロウ引きの原紙をヤスリ盤に乗せ、鉄筆で文字や絵を刻みのガリ版印刷でした。その頃の運動ではソフトボール・卓球が盛んで、ソフトボールでは、2回程新幹線で、名

に中京区に「青年部」が発足しました。何人かで人集めの為、一軒一軒、

Quiz
脳トレクイズ

問題

下記の□に入る漢字は、何でしょう？

先
一 □ 活
身

応募方法

- ① クイズの答え ② 住所
③ 氏名 ④ 電話番号 ⑤
7月号広報紙の意見、感想
をお聞かせ下さい。⑥ 答え
は必ず官製ハガキでお願い
致します。

正解者には、抽選で3名
様に、図書カード1000円
分をお送りします。

締切り12月10日(消印有効)

〒601-8321 南区吉祥院西定成町35
洛南身障福祉会館内
肢体障害者協会クイズ係まで

◎ 前回の答えは、

- 「1. 唯唯諾諾、2. 一切衆生、
3. 己巳己巳、4. 意味深長」
でした。

全問正解者は2名。当選者は、
賞品の発送をもって発表にか
えさせていただきます。

コロナの感染拡大は小康状態ですが、数々のイベントが中止となり、例年なら夏・秋のイベントの記事で満載となる当誌も、イベント記事が無い号が2号続きました。しかしこういう機会だからこそ自分にとっての「京都市肢体障害者協会」を見直す良い機会なのかもしれません。今回は役員の方々「障害者の仲間に入って！」というテーマで原稿をお願い致しましたが、会員の皆様にも個々の思いがあると思いますので協会設立70年の間の色々な思い出を投書頂き、順次掲載していきたいと思っておりますので皆様のご投稿をお待ちしております。

原稿は協会事務局までメール・FAX・郵送でお願い致します。

編集後記



ご寄付

中京区
川端正彦様(2,000円)
(令和2年9月30日現在)
ありがとうございました

連絡先

〒601-8321
京都市南区吉祥院西定成町35
京都市洛南身体障害者福祉会館内
NPO法人京都市肢体障害者協会
*事務局電話【FAX共用】
(075) 672-13615